



運動会での学び

校長 大関 正人

運動会が幕を閉じました。

閉会式が終わって教室に戻ろうとする子どもたちに、運動会の感想を聞きました。一部紹介します。

- ・赤組はこれまで連続で勝っていたから、今回も勝ててホッとしました。
- ・練習ではずっと負けていたので、本番もダメかなあと思っていました。でも、最後まで頑張ったら勝つことができました。あきらめないことが大切だと学びました。
- ・仲間が力を合わせている姿を見て、応援リーダーをやってよかったと思いました。
- ・係の仕事もあったので、あまり応援席にはいられませんでした。いそがしかったけれど、充実した運動会でした。
- ・練習を始めてから当日になるまで、けっこう長く感じました。でも、相手がいたから、自分はここまでやり抜くことができたのだと感じました。



運動会に向けての練習には、体力向上のねらいが含まれていることはもちろんですが、「規律ある集団行動」「責任感や連帯感」など、心身の健全な発達に関するねらいも多く含まれます。

東っ子には、「ゴールするまで頑張ること」「心を合わせて協力すること」「仲間や相手のよいところを見習うこと」「自分の役割と責任を果たし、準備や運営に取り組むこと（高学年）」を中心に伝え、限られた時間の中で、練習を重ねてきました。

そして、当日。グラウンドには、あちらこちらで輝く東っ子の姿がありました。

「笑顔100% 全力で楽しみ、思い出に残る最高の運動会にしよう」のスローガンのもと、家庭や地域からの応援もエネルギーにして、多くの学びを実感していた東っ子。全員に金メダルです。

運動会への応援をありがとうございました。